

## 国民の願いがかなう政治を

### 消費税増税を中止し、働く人の所得を増やすデフレ・経済対策を

元日、3日、日本共産党の常山町議は、宣伝カーで町内をまわり「こんにちは、日本共産党です。新年おめでとうございます。」「総選挙では大変お世話になりました。引き続きご支援よろしくお願いいたします。」と挨拶。

集落ごとに、車から降りて、「安倍内閣が発足し、多くの皆さんから『心配でならない』との声が上がっています。

一つは経済の問題です。「デフレ対策」として「金融緩和を無制限に行う」「公共事業のバラまきをすすめる」と言っています。その上で、消費税増税も強行しようとしています。無制限の金融緩和を行い物価を上昇させても働く人の賃金下がりが続ければ暮らしはもっと苦しくなります。

日本共産党は、まず消費税増税を中止すること。

そして働く人たちの所得を大きく増やすことが真の「デフレ・経済対策」になると考えています。

もう一つは、憲法改悪の動きです。憲法9条を改定し「国防軍」をつくり、海外で米軍と一緒に戦闘行為ができるようにするとしています。



憲法9条を守り、憲法9条を生かした平和外交こそが今の日本に求められています。

参議院選挙で、民意を無視する自・公政権に厳しい審判を下しましょう」と訴えました。

## 町民の願う公共交通を！

12月議会で「公共交通に対する町の取り組みの現状は？」の常山町議の質問に、町長は、「皆野町の地形を考え、また初期投資をかけないで、タクシーの半額補助制度を4月から行っていきたい。対象は、バス停から1Km以上離れている。70歳以上の方で運転免許証を持たない人。」と答弁しました。

町民からは、『70歳以上とか、運転免許証を持たないとか、いろいろ条件を付けるのはよくない。』『ワンコイン(500円)均一位ならば気楽に出かけることが出来る』の声が届けられています。

バス停から1Km以上の地域となると、地図上の直線ではなく道路で実測しても、バス路線のない下田野や金崎地域などは対象外になります。

バス停まで1Km歩くのは大変というお年寄りも多くなります。

町民懇談会や、事業者、専門家を交えた検討会などを開催し、町民の要望に答える公共交通が求められています。

参議院埼玉選挙区予定候補

伊藤

岳



新しい年、おめでとうございます。

2013年1月

暮れの総選挙では「民主党NO!」の劇的な審判が下りましたが、今年の参議院選挙は「本物の改革」を選択する選挙に！日本政治の新しい胎動が聞こえる選挙に！と決意しています。私は、3・11の原発事故後、県内15カ所で「原発さよならツイッターデモ」連続実施してきました。デモ参加者は、「大飯、敦賀、東通りと、活断層の可能性高いところに日本の原発は建っている」「やっぱり、原発は直ちにゼロしかない負けずに懲りずにデモを継続していこう」と語り合っています。国民の願いが通る国会にするには、「原発マネーも、企業献金も受け取らない党。財界やアメリカにコントロールされることのない党が、どうしても必要です。「本物の改革」へのキーマン・日本共産党・伊藤岳を、どうかよろしくお願いたします。

